

ふいじがたちょうけいりょう
V字型超軽量グライダー

実験担当者 工藤 清^A・西野 春喜^B

所属 手づくりおもちゃの科学館（こども歴史文化館）^A

（株）スタックシステム^B

1. ねらい

紙ひこうきやグライダーが空を飛ぶことができるのはなぜだろう。

飛行機の翼^{つばさ}についているフラップにはどのような働き^{はたら}があるのだろうか。

2. 用意するもの

V字型の発泡スチロールグライダー、シール2枚、はさみ。

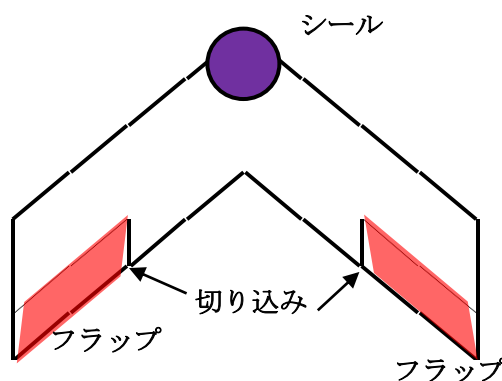
3. 作り方

①グライダーの翼の後ろに切りこみをいれて、フラップ部分を2つ作る。

②グライダーの先にシールを2枚、向かい合わせにはる。

4. あそびかた

グライダーの後ろをかるくつまんで、ま横または少し下に向けてしずかに^{はな}離す。



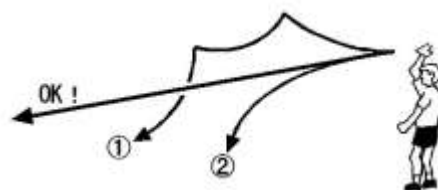
5. 工夫

いろいろな飛び方をするグライダーをコントロールしてみよう。

①ピッチングする → シールの上にさらに小さいシールをはる。

②すんと下に落ちる → 左右のフラップを少しだけ上に曲げる。

③右や左に曲がる → もう片方のフラップを上を曲げる。



6. わかること

グライダーが安定して飛ぶために必要なことは、^{じゅうしん}重心が^{ふりよく}浮力の中心の少し前にあることです。また、安定して飛ぶためには、ある程度の早さも必要です。